



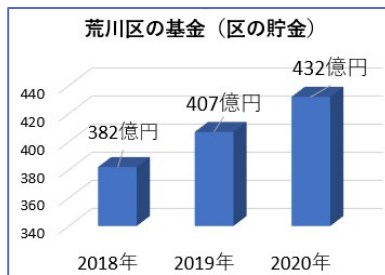
## 2022 年度予算要望を提出

日本共産党荒川区議団は12月17日、2022年度予算要望(13重点要望と497要望項目・右囲)を区長に提出しました。当日は北川副区長が対応しました。



荒川区の2020年度決算は、黒字が22億円余、基金総額が過去最高の430億円に達しています(グラフ参照)。

今回の予算要望のうち重点課題としたものすべて合わせると約20億円。今、コロナで苦しむ区民に向けて、基金のほんの一部を活用できるようにすべきです。



長期にわたる新型コロナウィルス感染によって、区民のいのちと健康、くらしと生業が深刻な影響を受けています。基本的人権、生存権など憲法の理念をくらしと区政に生かす時です。みなさんとご一緒にくらしにも政治にも希望を切りひらくため、力合わせてがんばります。

### 荒川区の子育て世帯への臨時特別給付金10万円

12月21日、28日5万円を2回にわけて支給されます。日本共産党区議団は10万円現金一括支給を主張、他党派もクーポンではなく現金給付を要望する声が多かったです。13日の首相発言を受けて荒川区は4日、クーポン予定としていた5万円分を現金給付することに決めました。なお、高校生(該当年齢)以上の方は申請が必要です。申請方法などは後日(年明け予定)送付されますので、ご確認ください。

## 2022 年予算要望 重点課題

- 1、第6波への万全の備えを
  - ①再び入所施設などでクラスターが起きないためにもPCR検査拡大、いつでも、どこでも、誰でも無料で検査すること
  - ②新年度における保健所体制の抜本的拡充、とりわけ通常の保健所業務を遂行しつつ、感染症にも対応できる体制整備を
  - ③原則自宅療養の撤回を国に求めるとともに、必要な医療が受けられるように、重症化を防ぐ抗体カクテル療法を行う病床確保など、医療機関との連携、支援の強化を進めること
- 3、中小事業者の緊急実態調査を行うとともに、区として事業継続のための独自補助事業を実施すること
- 4、政府の給付金対象から外れる低所得者への給付金をはじめとした独自支援を実施すること
- 5、「生活保護は国民の権利」をわかりやすく周知・徹底し、利用条件満たした方が申請しやすい環境と大変さに寄り添った制度運用を行うこと
- 6、子どもの医療費無料化を18歳まで引き上げること
- 7、高齢者など難聴の方への補聴器購入助成を実施すること
- 8、住宅政策として、公営住宅入居基準内のひとり親世帯への家賃助成制度を実施すること
- 9、生理用品を公共施設の個室トイレに常備すること
- 10、ジェンダー平等と多様性を大きな強みにする荒川区をつくる第一歩としてパートナーシップ条例の制定を決断すること
- 11、廃プラスチックの回収、リサイクル事業について早急に全区に拡大すること
- 12、高齢化社会の急速な進行の下、区内の交通不便地域解消など移動制約者対策をまちづくりの中心課題に据えるための公共交通政策を策定すること
- 13、住宅耐震化目標の達成と燃えない、倒れないまちづくりの推進

今年の法律相談は終了しました。  
次回は来年1月21日金曜日の予定です。  
お急ぎの場合はご連絡ください。  
生活相談はいつでもどうぞ。

発行：日本共産党議員団 TEL：3802-4627 FAX：3806-9246

e-mail：arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8 メゾン・ド・ポラリス1階

TEL&FAX：3894-6668



2021年最後の区政ニュースとなりました。来年もよろしくお願いいたします。

# 2022年成人の日のつどいはサンパール荒川で



2022年1月10日(月・祝)に成人の日のつどいが行われます。昨年はコロナ禍で動画配信でしたが今年は例年のサンパール荒川大ホールにて、出身中学校(区域)別の3部制で実施予定です。

11月30日時点で対象の方が1809名(男性871名、女性938名)です。式典参加申込は現在600名ほどのようです。申込期限は切れてしまっていますが、区にご連絡いただければ参加できます。

コロナ感染防止のため、式典は事前録画した区長と議長からの祝辞動画を投影、新成人代表による誓いの言葉と実行委員会企画が予定されています。

コロナ感染拡大でオンライン配信に切り替える場合もあります。実行委員会形式で準備を進めてきた「つどい」です。実施できるよう願っています。

【問合せ】生涯学習事業係3802-3111(内線:3354)

# 来年度、東京都が同姓パートナーシップ制度を導入へ



東京都知事が12月7日の都議会本会議で、パートナーシップ制度を来年度から導入すると表明しました。日本共産党都議団がこれまで求めてきた制度で、都議会で今年6月に「導入を求める」請願が趣旨採択されていました。

全国130自治体、東京でも12市区ですすでに導入されています。認定されると、パートナーの病気や死亡などの場合に当人の関係を周囲に説明しやすくなる、公営住宅の家族向け世帯への入居や住宅ローンや保険の加入などしやすくなる、などのメリットがあります。

荒川区でも区民から出された「同性パートナーシップ制度の導入を求める陳情」が今年4月の区議会で採択されています。区は導入を検討中ですが、今後、東京都の制度との関りなど、検討が必要としています。

当事者から声を聞き、多くの方が利用できるより良い制度にし、ファミリーシップ制度も導入するよう、荒川区でも求めていきます。ご意見をお聞かせください。

# 区民葬儀の火葬料金値上げ!

区民葬とは、自治体が住民向けのサービスの一環として行っている葬儀プランです。葬儀にかかわる一部の項目について、協力する葬儀社と協定料金を定めています。区民葬の大きな特徴は、簡素ながらも安価でお葬式があげられるところです。所得の制限などはありません。

区民葬儀火葬料	改定前	改定後	一般料金
大人	53,100円	59,600円	75,000円
子ども(6歳以下)	29,000円	34,500円	42,000円

\*一般料金は東京博善(株)町屋斎場の料金

# LGBT 写真展開催中

区内で暮らしている LGBT などの性的少数者の方々やアライ(理解者)を身近に感じてもらい、区民の理解の輪がより一層広がっていくようにと企画された写真展が開催中です。

当事者団体「レインボー荒川の会」が全面協力。自分らしく生きることや当事者の気持ちなど写真とメッセージで発信しています。写真展スケジュールは下記のとおりです。



【問合せ】男女平等推進センター 電話 3809-2890

## ゆいの森あらかわ 2階吹き抜け

2021年12月17日(金曜)~27日(月曜)  
9時30分~20時30分

## 荒川さつき会館 1階ロビー

2022年1月4日(火曜)~14日(金曜)  
9時00分~17時00分 ※最終日~16時00分

## 荒川区男女平等推進センター(アクト21) 1階

2022年1月17日(月曜)~31日(月曜)  
9時00分~22時00分

# 来年4月から

前回の火葬料金改定から10年以上が経ち、経費が増大したため、値上げするとしています。一般料金の1割引と設定されていますが、大幅な値上げを避けるため、都立瑞江葬儀所(23区内唯一の都立葬儀所)と同一料金を設定することになりました。

区民葬儀でも、オプションを加えると費用がかさみます。お亡くなりになってから葬儀まで間が空くと、遺体安置料、ドライアイス費用もかかります。ご遺族には大切な人を失った悲しみに加えて、大きな出費になりかねません。つらいです。